

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4473
24年8月16日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

79回目の原爆の日 長崎平和行動

おはようございます。
支部は今年の夏も例年通り平和行動に取り組みました。今日の「未来」ではピースイクル長崎ルート、原水禁長崎大会、原爆の日の行動を掲載します。

2024ピースサイクル長崎ルート

8月7日、神奈川から参加の久保さん、佐藤さんが午前9時に玄海原発に申し入れを行ない、ピースサイクル長崎ルートがスタートしました。その後、長崎のメンバー3人（山田支部長、濱崎執行委員、荒木さん）との合流地点の伊万里道の駅に向けて自転車での実走がスタート。
一方、長崎のメンバーも自転車3台をレンタカーに積み込んで9時半に長崎を出発、予定通り1

2時に伊万里道の駅で神奈川のメンバーと合流して昼食をとりました。昼食後、13時に全体で記念撮影を行い、自転車3台、伴走車2台に分かれこの日のゴールの佐世保に向けてペダルを漕ぎだしました。16時30分予定通り佐世保に到着。シャワーで汗を流した後は午後6時半から近くの居酒屋で懇親会を開催し、疲れを吹き飛ばす美味しいビールを飲みました。



8月8日午前8時、この日のゴールの長崎に向けてスタートしました。午前中は例年より1カ所休憩地点を増やし、坂道を回避する迂回ルートを走るなどして出来るだけ体力を消耗しないようにしました。

午後からは猛暑の中、大村の鈴田峠、そして最大の難所の日見峠を上り切りました。そして参加者は16時過ぎ、ゴールの長崎中郵支部事務所に全員怪我なく無事に到着しました。

原水禁長崎大会

8月7日の原水禁長崎大会には県内外から多くの参加者が集まりました。「核も戦争もない平和な21世紀に！」をメインスローガンに開会され「原爆許すまじ」を皆で斉唱し、核廃絶への想いに包まれました。

8月8日の分科会では「平和と核廃絶Iー世界の核軍縮」のテーマで川崎哲さんの講演を聞きました。講演では、「世界にある約2000国の内、核保有国は米国、ロシア、など9ヶ国のわずかな国だけで、ほとんどの国は核兵器の保有は良くないと思っている。広島と長崎に投下された後は実際に戦争に使用していないと言っても、核実験は数千回行われ、実験場所は保有国の中心から離れた所で行われているが、事

故や被爆により多くの犠牲者が発生している。」と核兵器の危険性を述べられました。



8月9日、原水禁大会閉会式では、「長崎においては79年経った今も被爆者と認められない『被爆体験者』の差別的現状が解決に至っていない。『被爆体験者』は被爆者です。世界のヒバクシャをめぐる課題の解決に向けて運動に取り組む。」と宣言されました。

原水禁大会終了後は爆心地公園までデモ行進を行い、市民集会参加の支部のメンバーと合流しました。

79回目の原爆の日

8月9日原爆の日、この日の行動は松山の爆心地公園で7時半から開催

された「朝鮮人犠牲者追悼集会」の出席からスタート。集会終了後は9時から原爆資料館で長崎市長宛てピースメッセージを館長に手渡し、自己紹介を兼ねた意見交換会を行いました。毎年、全国から反戦、平和を求めるメッセージが長崎に多数寄せられています。



今年も全国から寄せられた平和への熱い思いが爆地長崎に届けることが出来ました。その後10時からスタートした市民集会に参加し、原爆投下時刻の11時2分に黙祷を行い、ここで今年の平和行動が全て終了しました。事故や怪我もなく無事終了し、参加者は来年の再会を約束して帰路につきました。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員が正社員化を。

ゆげが、均等待遇、なげんご差別ー。

ユニオンは労契法裁判に勝利を！